



大門小学校は、地域との関わりを意識した実践に取り組んでいる。その中で、5年生は「支え合う社会について考えよう」をテーマに、福祉についての学習を行っている。現在の大門小学校で車いすを使って生活するとしたらどのような点に困ることがあるのかについて考えたり、車いすに乗ったりすることで、みんなが支え合い、心地よく暮ら

していくにはどうしたら良いかそれぞれが考えを深めることができた。

これを機に、自分たちが支えられ、そして支えていく地域社会の一員であることを自覚し、自分の周りの人々や地域の人々を大切にする心を育んでいきたい。

(文責：大門小学校 中村 太郎)